



令和4年3月25日  
河川部水災害予報センター

## 令和4年2月の北陸地方整備局管内の水文・水質状況

北陸地方整備局管内一級河川の主要な水文・水質観測所における観測結果及び水質事故の状況について発表します。

なお、掲載の数値は速報値であり、確定値と異なることがあります。

令和4年2月の調査地点における概要は、次のとおりです。

○生活環境項目のBODで環境基準値を超えた地点はありませんでした。

○健康項目の鉛は1地点で環境基準値と同値を観測しました。

・関川水系 保倉川 古城橋 鉛 0.010mg/l (環境基準値0.01mg/l以下)

なお、その後の追加水質調査では環境基準値の超過は確認されませんでした。

○要監視項目で、指針値を超えた地点はありませんでした。

○2月の水質事故発生件数は18件でした。

・北陸地方整備局管内で報告のあった水質事故は、18件でした。

・流出物質別では、油類18件でした。

・事故原因別では、取り扱い不注意5件、機器の破損5件、その他8件でした。

・県別では、新潟県12件、福島県1件、富山県1件、長野県4件でした。

※主な水質事故の概要は別紙のとおりです。

なお、本資料に関するデータ等については、北陸地方整備局ホームページにおいて提供していますので、そちらをご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/river/suisitu/suicon.html>)

同時資料配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ  
新県政記者クラブ  
富山県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
福島県政記者クラブ  
長野市政記者クラブ  
長野県庁会見場

問い合わせ先 :

国土交通省北陸地方整備局 河川部  
水災害予報センター長 長谷川 達也

代表 : 025-280-8880 直通 : 025-370-6770 FAX : 025-370-6781

北陸技術事務所(水質分析機関)  
品質調査課長 森 茂

代表 : 025-231-1281 直通 : 025-231-8037 FAX : 025-231-1283

( 別 紙 )

北陸地方整備局に報告のあった主な水質事故の概要(概ね100Lを超えるもの)

発生年月日	水系名	河川名	原因物質の量	事故発生場所	事故の概要
2022/2/2	小矢部川	毘沙門川	灯油・200～300L	富山県小矢部市綾子地先	河川パトロールにて毘沙門川に油を確認した。原因は一般宅の灯油タンクからの灯油漏れであった。国と県が渋江川合流前の毘沙門川にオイルフェンスを設置、国が渋江川にオイルフェンス設置し対応した。
2022/2/3	阿賀野川	旧湯川一水路	灯油・推定150L	福島県会津若松市花春町地先	消防に御薬園の池に油膜が見られる旨通報があった。関係機関で確認したところ、発生源は近隣の空き家のホームタンクが老朽化し、そこから灯油が漏洩し水路に流入したものであった。市が水路に吸着マットを設置し対応した。河川への流出はなかった。
2022/2/20	信濃川	見越沢川	灯油・最大200L	新潟県南魚沼市姥島新田地先	一般宅の暖房器具の修理業者から消防に油膜油臭がある旨通報があった。消防が現地確認したところ、積雪によりホームタンクの配管が折れそこから灯油が流出したものであった。消防が原因者宅に吸着マットを設置し対応した。見越沢川では油膜を確認したが、魚野川では確認できなかった。
2022/2/21	信濃川	信濃川一水路	灯油・200～400L	新潟県津南町大字下船渡地先	住民より町へ水路で油臭がする旨通報があった。消防が現地確認したところ、上流の一般宅において積雪によりホームタンクのレバーが開いてしまい灯油が漏洩したものであった。油が流出した水路は流量が多く、吸着マット等による処置はできなかった。宮中取水ダムにおいて異常はなかった。
2022/2/21	信濃川	魚野川一水路	灯油・400L程度	新潟県南魚沼市長崎地先	住民より警察へ敷地脇の水路に油膜を確認した旨通報があった。関係機関で確認したところ、水路上流の一般宅においてホームタンクからの小分け中その場を離れ灯油が漏洩したものであった。県が発生源周辺の水路に吸着マットを設置し対応した。